

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

このメールマガジンは、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

スポーツ振興くじ (toto) 助成金についてはこちらから
(日本スポーツ振興センター HP) <http://www.jpnsport.go.jp/>

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数：4,806件



スポーツ振興くじ助成事業

INDEX

📌 〈特集〉スポーツ少年団と連携しているクラブ

- ▶ [はしかみ総合スポーツクラブ \(青森県階上町\)](#)
～クラブがスポーツ少年団大会を開催、クラブ教室からスポーツ少年団を設立～
- ▶ [山辺の里スポーツクラブ \(山形県山辺町\)](#) ～仲間と一緒にいい汗いい笑顔～
- ▶ [NPO 法人へきなん南部スポーツクラブ \(愛知県碧南市\)](#)
～多様なスポーツニーズに応えるためスポーツ少年団に登録～

📌 〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

[NPO 法人角館総合型地域スポーツクラブの取組み \(秋田県仙北市\)](#)

📌 助成金情報

[申込締切：8月5日まで](#)

📌 お知らせ

- ▶ [総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」募集中!!](#)
- ▶ [労力半分、効果は2倍! 「クラブのらくらく広報」をご活用ください!](#)
- ▶ [スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガンの最優秀賞および優秀賞が決定!!](#)
- ▶ [NPO 法人クラブネッツ「第1回総合型地域スポーツクラブ組織基盤強化セミナー」開催のご案内](#)
- ▶ [熱中症予防ガイドブックが新しくなりました!](#)
- ▶ [平成25年度「中高年者のための運動プログラム」に関する研修会の申込みを受付中!](#)
- ▶ [あくしゅ、あいさつ、ありがとう「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンにご協力をお願いします!](#)
- ▶ [2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします!](#)

* あくしゅ、あいさつ、ありがとう *
* 「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン *
* <http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/> *



スポーツ少年団と連携しているクラブ

はしかみ総合スポーツクラブ

～クラブがスポーツ少年団大会を開催、クラブ教室からスポーツ少年団を設立～



キーポイント

- スポーツ少年団（以下、少年団）のスポーツ安全保険に係る諸業務をクラブが代行 [250名分]
- 地域の少年団が参加できる大会を主催
- クラブのサッカー教室を少年団登録

1 少年団との連携事業概要（少年団大会の開催）

- (1) 名称 …… はしかみ SSC 杯ミニバスケットボール大会
 会場 …… 地域の小学校体育館（2校）
 参加チーム… 8単位団（第1回）→15単位団（第3回）
 （近隣市町村や隣接する岩手県から参加）
 参加料 …… 4,000円 / 1単位団（第1回大会）→5,000円 / 1単位団（第3回大会）
 大会期間… 2日間（土曜日・日曜日）
 運営 …… 各チームからの帯同審判を派遣
- (2) 名称 …… はしかみ SSC 杯学童野球大会
 会場 …… 地域の小中学校のグラウンド
 参加チーム… 8単位団（近隣市町村や隣接する岩手県から参加）
 参加料 …… 4,000円 / 1単位団
 大会期間… 2日間（土曜日・日曜日）
 運営 …… 各チームからの帯同審判を派遣

2 少年団と連携したキッカケ

「はしかみ総合スポーツクラブ（以下、クラブ）」（青森県三戸郡階上町）は、クラブ創設準備期に学校関係者や地域住民に対して説明会を複数回実施し、要望などを聞いた結果、クラブ設立時には、地域の小学校運動部活動・少年団活動におけるスポーツ安全保険に係る諸業務をクラブが代行することとなりました。その後、さらにクラブとして子ども達に何ができるのかを検討する中で、以下の理由からクラブ主催で少年団大会を開催することとしました。

○大会を実施した理由

- ・クラブの地域貢献活動（保険に係る諸業務の代行だけでは地域貢献度が薄い）
- ・少子化による試合経験不足の解消
 （少子化による団員数減少に伴う試合数の減少や、大会に勝たないと多くの試合を経験できないことなど、子ども達が経験できる試合数が少ない状況にあった）
- ・地域住民への広報活動（チラシの配布などにより認知度向上につながる）

○大会運営上のポイント

- ・町内の少年団には全単位団（3校）に参加いただく。
- ・近隣市町村の少年団にはクラブマネージャーが直接交渉し参加を呼び掛けた。
- ・会場設営や撤収も全単位団で行う。

- ・ 運営費については全て参加料の範囲内で対応した。

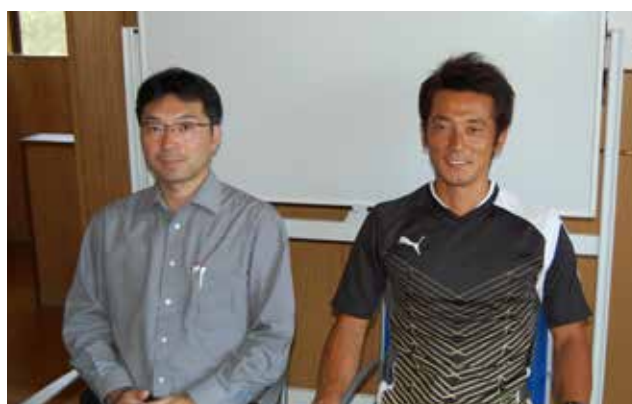
○大会実施の効果

- ・ 行政主催の大会では参加が難しいと思われる他県の少年団に参加いただいた。
- ・ 勝敗にこだわらず試合時間の短縮などを行うことにより、より多くの子ども達に試合を経験させることができた。
- ・ 大会名にクラブ名を使用したことで、町内に限らず近隣市町村までクラブの認知度向上を図ることができた。

3 少年団設立のキッカケ

クラブでは、所在地域にサッカー教室や少年団が無かったことから、平成24年1月から3カ月の期間限定でサッカー教室を実施しました。クラブが想定したよりも多くの参加があり、教室継続を希望する声も多かったため、4月から正規教室となりました。現在はクラブの専属コーチとして、公益財団法人日本サッカー協会(JFA)公認指導者である玉懸敦氏が指導を行っています。

そして、少年団登録すると各種大会にも参加できることから、平成24年10月にサッカーチームを設立、平成25年4月にチームを少年団登録しました。そのことがキッカケで県内のサッカー情報誌がクラブのスポンサーとなり、定期的にクラブの情報を掲載していただいています。



4 クラブとしての今後の展望

期間限定でスタートしたサッカー教室は、現在クラブの主力教室となっています。参加者も多いことから今後は少年団の育成母集団を組織化し、クラブとの連携協力体制を築いていきたいと考えています。

また、ミニバスケットボール大会や学童野球大会に続き、クラブ主催のサッカー大会を開催し、近隣市町村のクラブや少年団との交流が図れるよう検討しています。大会の認知度が上がるにつれて問い合わせや参加希望の声も増えていますが、開催場所が限られていることから大会規模を大きくすることは難しい状況です。クラブでは、むやみに規模を大きくするよりも、よりきめ細かな部分に配慮した大会として長く継続することを考えています。

(公益財団法人青森県体育協会クラブアドバイザー 佐藤 龍哉)

クラブプロフィール

設立年月日：平成22年3月27日

地 域：青森県三戸郡階上町（農林水産業が盛ん、八戸市に隣接し市内へ通勤・通学する人も多い）

運 営：会員数 100名(平成25年4月現在)

予算規模 約960万円(平成25年度)

特 徴：器械体操やツリーイング(木登り)など他クラブにはない種目を実施している

連 絡 先：〒039-1201 青森県三戸郡階上町道仏字耳ヶ吠 32-21

TEL：0178-38-9352 FAX：0178-38-9353

E-mail：nakajo@kkf.biglobe.ne.jp

スポーツ少年団と連携しているクラブ



山辺の里スポーツクラブ ～仲間と一緒にいい汗いい笑顔～



キーポイント

- 既存のスポーツ少年団(以下、少年団)がクラブに加入
- 事務局機能が整備されたクラブが、少年団の各種手続きを行う
- クラブ加入後、少年団間でのスポーツ交流が促進される

1 クラブの概要

「山辺の里スポーツクラブ(以下、クラブ)」(山形県山辺町)は、平成12年頃に起きた市町村合併問題を契機に、合併後の町のスポーツ振興などについて有志が話し合う「総合型地域スポーツクラブを考える会」、そして「山辺の里スポーツクラブ設立準備委員会」を経て、平成17年3月に設立されました。

クラブの理念として、(1)「生涯にわたって誰もが気軽にスポーツに親しむことができるようにする」(2)「会員の健全な心身を育成する」(3)「元気で健康な連帯感あふれる『山辺のまちづくり』に貢献する」という3つの柱を立てています。

活動はスクール部門(少年団11単位団の活動)、イベント部門(スポーツ教室や研修会など14種目開催)があり、町体育施設、学校体育施設、町公民館施設などの会場で展開されています。

2 地域で活発な既存の少年団がクラブに加入

山辺町では、以前より町体育協会や町レクリエーション協会、少年団が活動しています。「教育」や「地域コミュニティ」に関心が強い土地柄から、特に少年団活動が盛んであり、多くの町民がその活動に協力的です。しかし、各団体の連携は十分とはいえない状況でした。

クラブでは、創設準備段階から町内の全単位団がクラブに加入していただくことを目指し、何度も少年団指導者や保護者に対して理解や協力を求めました。しかし、少年団には登録料制度が存在する一方で、クラブへの加入には別途クラブ会費を支払う必要があり、ご加入いただくには大変苦労しました。

それでも少年団がクラブに加入してもらったポイントとして、クラブの運営委員である長岡さんは「直接何度も会って、話し合いを持ったことが良かった」と語っています。また、少年団側からすれば、登録手続きやスポーツ安全保険などの事務が大変であることや、少子化が進む中でスポーツの苦手な子どもたちの取り込みに苦労していたことも、クラブに加入していただくキッカケとなりました。

3 少年団がクラブに加入した後の効果

クラブに少年団が加入した後、事務局機能が整備されているクラブ側が団員募集、登録手続き、スポーツ安全保険手続きを担当することになりました。また、クラブが、少年団指導者研修会や体力テストの開催などクラブ加入少年団が一堂に会する機会を作りました。

その結果、少年団員や指導者は他の少年団活動やクラブ教室への参加ができるようになり、他の小学校区の団員やその保護者と知り合うキッカケや、多様なスポーツ活動を経験できるキッカケとなりました。

4 今後の展望

クラブの今後の展望について、クラブ事務局長である岡崎さんは「スクール部門ではこれまでのスポーツ少年団活動を継続しながら、多様なスポーツ体験ができるイベントを開催して、子ども達の会員を拡大したい。またイベント

部門では、教室間のクラブ会員や他クラブとの交流の機会を充実させ、更にクラブを発展させていきたい」と語っていました。

(公益財団法人山形県体育協会クラブアドバイザー 海老名清二)



クラブプロフィール

設立年月日：平成17年3月26日

地域：山形県山辺町全地域

運営：会員数 400名(平成24年度実績)

予算規模 約500万円(平成25年度)

特徴：住民が主体となって設立し、少年団事業を中心に広く町民を対象とした教室型イベントプログラムを行っているクラブである。また、クラブは町からスポーツ振興基金やスポーツ教室委託事業を受け、行政とは独立しながらも堅い連携により運営されている。

連絡先：山形県山辺町緑ヶ丘1 山辺町民総合体育館内

TEL：023-664-7263 FAX：023-664-7256

E-mail：yamanobenosato@nifty.com

クラブHP：<http://homepage2.nifty.com/yamanobenosato/>

スポーツ少年団と連携しているクラブ

NPO法人へきなん南部スポーツクラブ ～多様なスポーツニーズに応えるためスポーツ少年団に登録～



キーポイント

- クラブの教室をスポーツ少年団(以下、少年団)登録
- 子どもたちの様々なスポーツニーズに応える環境の整備

1 総合型クラブは後発部隊!! 地域の不足を補う団体になろう!!

「NPO法人へきなん南部スポーツクラブ(以下、クラブ)」(愛知県碧南市)は、平成22年に設立、平成24年にNPO法人化したクラブで、「夢・健康・仲間づくり・生きがいづくり」をモットーに、碧南市臨海公園を拠点として18教室で活動しています。

碧南市では市体育協会及び市レクリエーション協会の活動が充実しているため、クラブ創設段階では地域から「総合型クラブは碧南市には必要ない」という意見も出ました。しかし、当時の地域住民の運動実施率が低かったことから、運動していない人に焦点を当てた活動にすることや市内で不足しているニーズを補える団体になることを目指し、活動の展開を始めました。

2 バスケットボール教室を少年団へ!!

平成22年当時、市内にはバスケットボールの教室や少年団がありませんでしたが、地域にはバスケットボールを教えたいと思う熱心な指導者がいました。そこで、クラブ設立時にバスケットボール教室を開催しました。

教室では、多くの子どもがバスケットボールを楽しめるように運営されていましたが、不特定多数の子どもが対象でメンバーが固定されていないことから、よりバスケットボールの上達を目指す子どものニーズに応えきれない部分が出てきました。そこで、ある程度固定のメンバーで計画的な指導や段階的な技術の習得が可能となるような組織が必要となり、少年団登録することを決めました。

当初、指導者は少年団登録料のことや諸々の少年団会議に出席が必要であることを懸念していましたが、少年団指導者を対象とした研修会に参加することが指導者としての資質の向上につながることから、少年団登録することに納得していただきました。一教室が少年団になることは容易ではなく、2年程度の時間がかかるであろうと思っていましたが、指導者を含めクラブが総力を挙げて尽力した結果、1年間でやり遂げることができたそうです。

3 少年団(名称:碧南アンビシャス)のメリット

指導者はバスケットボール教室と少年団の両方の指導もしているので、双方の参加者を集める相乗効果が生まれています。クラブ会員の子どもはバスケットボール教室から始め、より専門的な技術を学びたいという子どもは少年団に登録します。先に少年団に登録した子どもで、もっと長い時間バスケットボールがやりたいと言って、クラブの会員になったケースもありました。

これら「教室体から少年団へ」育てた一連の流れにより、多様なスポーツニーズに応えられるスポーツ環境の整備ができたと考えています。クラブと少年団を結ぶことで、子どもたちは自分自身が目指すビジョンが明確になったことでしょう。また、指導者は初心者から上級レベルまで幅広い指導が求められ、自らのスキルアップになったそうです。

4 クラブと少年団との関わり

指導者はバスケットボール教室と少年団の両方の指導もしているので、双方の参加者を集める相乗効果が生まれ

ています。クラブ会員の子どもはバスケットボール教室から始め、より専門的な技術を学びたいという子どもは少年団に登録します。先に少年団に登録した子どもで、もっと長い時間バスケットボールがやりたいと言って、クラブの会員になったケースもありました。

これら「教室体から少年団へ」育てた一連の流れにより、多様なスポーツニーズに応えられるスポーツ環境の整備ができたと考えています。クラブと少年団を結ぶことで、子どもたちは自分自身が目指すビジョンが明確になったことでしょう。また、指導者は初心者から上級レベルまで幅広い指導が求められ、自らのスキルアップになったそうです。



5 今後の展望

現在は、バレーボール教室を少年団登録する計画を立てています。碧南市にはバレーボールの少年団がなく、熱心な指導者がいるといった点でバスケットボール少年団との事例と類似しています。今後も、総合型クラブから少年団に登録する団体が増える、また少年団が総合型クラブと連携・共同することで、地域スポーツ環境の整備及び指導者の育成に力を入れていこうと考えています。

(公益財団法人愛知県体育協会クラブアドバイザー 藤田 佳保里)

クラブプロフィール

設立年月日：平成22年3月21日設立

地 域：愛知県碧南市浜町

運 営：会員数 885名(平成25年6月現在)

予算規模 約1000万円(平成25年度)

特 徴：既存の団体と共同・共存ができているクラブである。

連 絡 先：愛知県碧南市浜町2-4

TEL：0566-42-4233 FAX：0566-42-4234

E-mail：hn-sougougata@wit.ocn.ne.jp

クラブHP：<http://www.hn-sougou.com>

かくのたて

NPO法人角館総合型地域スポーツクラブの取り組み



キーポイント

- 被災地から避難されている被災者への支援活動
- 被災者を地域の一員として迎える
- 大事なことは、クラブとして「できること」を実施していくこと

1 被災地の子ども達との交流会

名称：楽しく・スポーツクラブ祭 ちびっ子運動会&読み聞かせ
対象：被災地から避難され、仙北市にお住まいの方々
日時：平成24年11月18日(日)9:00~12:00
場所：秋田県仙北市 NPO法人角館総合型地域スポーツクラブ体育館
内容：体を使ったゲーム、本の読み聞かせ、映画鑑賞などで楽しく交流を図り、心身のリフレッシュを図った。(実施種目など：ハイハイレース、パン食い競争、風船はこび、バランスボールころがし、読み聞かせ、パネルシアター、囲碁大会)
※地元住民及びクラブスタッフから地元農産物などを商品として提供されました。

参加者：40名

運営：クラブスタッフ15名

経費：10万円



2 支援活動の具体的な内容について

東日本大震災から2年以上経過しましたが、被災地の復旧・復興は依然大変な状況が続いています。「NPO法人角館総合型地域スポーツクラブ(以下、クラブ)」(秋田県仙北市)では震災後、厳しい交通状況などもありましたが、ただちに現地へ物資を送る支援活動などを行ってきました。現在も行政と連携をとりながら、市全体で被災者の受け入れ、物資支援などを行っています。

クラブが所在する仙北市では、震災後に被災者の受け入れ支援を行っています。仙北市、特にクラブの活動拠点である角館町や田沢湖町は東北地方有数の観光地ですが、震災の影響で観光客が激減しました。そこで、行政やホテル・旅館などの宿泊施設が働きかけ、空きのある宿泊施設や雇用促進住宅を被災者の受け入れ施設として活用することとしました。現在、仙北市が受け入れている被災者数は57名です(震災直後は97名)。

クラブでは、特に現在仙北市にお住まいの被災者の方々に、支援活動を積極的に展開しています(上記1の交流会などを実施)。

3 被災者を地域の一員として迎える

支援活動において、クラブではどんなに忙しくてもクラブで「できること」を見逃さないようにしています。

例えば、クラブハウスには地域住民が集まる交流広場があり、そこには無料で利用できるパソコンが設置されています。これは、被災者の方が故郷の知り合いとメール交換などができるよう配慮したものです。また、交流広場では被災者の方々が不安な気持ちなどを心おきなく言える場、そして被災者の声を聞ける場として活用できるよう雰囲気づくりに取り組んでいます。こうしたちょっとした取り組みをクラブでは大事にしています。

また、クラブが被災者と交流する上で心がけていることは、被災者の方々を被災者として「特別扱いしない」ことです。被災者の方を被災地の方として見るのではなく、地域に住む一員として接するということをクラブ会員にも伝え、共通理解として普段のクラブ運営を行っています。



4 故郷へ戻った方々への配慮と支援活動の今後

クラブでは、故郷に戻った方々にも「どうしていますか」「不便なことはないですか」という状況を聞き、適宜不足物資を送る支援も行っています。

被災地支援活動で苦勞していることは、被災地の復旧・復興が遅れていることへの懸念とそれに向けた対応であると考えています。しかし、クラブでは「クラブとしてできることに限りがあっても、助け合う心を決して忘れず、常に『今できること』『今やれること』に精一杯努める姿勢を欠かさない」ことを考えており、その姿に励まされました。

(公益財団法人秋田県体育協会クラブアドバイザー 田中 忠夫)

※NPO 法人角館総合型地域スポーツクラブの震災直後に行った支援活動の様子はこちらをご覧ください。

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.2_fukkousien_akita.pdf

クラブプロフィール

設立年月日：平成 17 年 5 月 26 日

地 域：秋田県仙北市角館町勝楽 134

運 営：会員数 350 名 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
予算規模 約 600 万円 (平成 25 年度)

特 徴：大型家具店倉庫をクラブハウスに改築。活動種目はスポーツ活動以外に囲碁、将棋、健康麻雀など文化活動もある。

連 絡 先：〒014-0341 秋田県仙北市角館町勝楽 134
TEL / FAX : 0187-54-1505

[INDEXへ▲](#)

助成金情報

申込締切：8月5日まで

- ▶ 平成25年度スポーツ振興くじ助成事業の追加募集 [8月5日(月)消印有効]

<http://www.jpnsport.go.jp/sinko/kuji/tabid/374/Default.aspx>

- ▶ ライフキッズスポーツクラブフランチャイズ助成金 [7月31日(水)当日必着]

<http://www.lsf.or.jp/joseikin.html>

- ▶ 第10回日本パートナーシップ大賞 [7月31日(水)18:00必着]

http://www.psc.or.jp/02_13.html

[INDEXへ▲](#)

お知らせ

●総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」募集中!!

総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)が平成25年(2013年)度に設立5周年を迎えることから、その記念事業として、総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」コンテストを実施しています。

皆さまからのたくさんのご応募お待ちしております!!

応募資格：SC全国ネットワーク加入クラブ(含、設立準備中団体)

応募期間：平成25年5月1日(水)~8月30日(金) ※締切日当日までの応募有効

- ▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/tabid/84/Default.aspx?itemid=2634>

●労力半分、効果は2倍! 「クラブのらくらく広報」をご活用ください!

会員募集やクラブの周知が思うように進まない・・・

広報活動をする人手が足りず、技術もなく困っている・・・

そんなクラブの方のために効果的な広報を行うためのガイドを作成しました。

実際に活用いただいた方から好評の声をいただいております!

本会HP上からダウンロードできますのでご利用ください。

- ▶ 「クラブのらくらく広報」

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/514/Default.aspx#05>

●スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガンの最優秀賞および優秀賞が決定!!

去る7月1日に本会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟及び日本中学校体育連盟は、「スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン主催団体合同審査会」を開催し、1,479点の応募作品の中から、最優秀賞作品(1点)と優秀賞作品(5点)を決定しました。

<最優秀賞>

「暴力0(ゼロ) 心でつなぐ スポーツの絆」

今回の募集にあたり本会には、518作品が寄せられました。

この場をお借りし、ご応募くださいました皆さま方に心からお礼申し上げます。

▶ 優秀賞スローガンなど詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2663>

▶ 「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」宣言文はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2636>

●NPO 法人クラブネット「第1回総合型地域スポーツクラブ組織基盤強化セミナー」開催のご案内

NPO 法人クラブネットでは、総合型地域スポーツクラブの「認定NPO 法人」へのランクアップを支援するため、「総合型地域スポーツクラブ組織基盤強化セミナー」を開催します。

第1回目は「認定NPO 法人の取得に向けて」をテーマに、北海道・石川県・福岡県の3会場となります。

参加をご希望の方は、下記URLからお申込みください。

○福岡県会場

日 時：平成25年9月21日(土)13:00~17:30

場 所：アクション福岡 第4研修室(福岡県福岡市)

申込締切：9月18日(水)

○北海道会場

日 時：平成25年10月5日(土)13:00~17:30

場 所：ホテルサンルート札幌 宗谷(北海道札幌市)

申込締切：10月2日(水)

○石川県会場

日 時：平成25年10月26日(土)13:00~17:30

場 所：NPO 法人クラブパレット スタジオ(石川県かほく市)

申込締切：10月23日(水)

定 員：各会場50名

参加費：3,000円

情報交換会費：4,000円

▶ 詳しくはこちらから

<http://www.clubnetz.or.jp/>

●熱中症予防ガイドブックが新しくなりました!

スポーツ活動中の熱中症事故がふたたび増加の傾向にあります。

予防原則から緊急時の対処法まで、現場での実用性がより高い内容に改訂された「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」。ぜひともご活用ください。

▶ スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/776/Default.aspx#guide01>

●平成25年度「中高年者のための運動プログラム」に関する研修会の申込みを受付中!

近年、スポーツ活動による健康づくりや生きがい、楽しみなどを求める中高年者が増加しており、中高年者のスポーツ活動を支える指導者のニーズが高まっています。

そうした背景を踏まえ、本研修会は中高年者の身体的特徴やスポーツ活動実施上の注意点について学ぶとともに、具体的な運動プログラムを指導する能力を身につけることを目的としております。

現在、中高年者の運動指導をされている方、また中高年者の運動プログラムにご興味のある方は、この機会にぜひご参加ください。

なお、本会の資格をお持ちでない方もご参加いただけます。

日 付：平成25年9月14日(土)10:00~18:40
場 所：三菱養和会巣鴨スポーツセンター(東京都豊島区)
定 員：80名
参加料：5,250円
申込締切：平成25年7月31日(水)

▶ 申込方法などの詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/tabid/241/Default.aspx>

●あくしゅ、あいさつ、ありがとう

「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンにご協力をお願いします!

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを実施中で、専用WEBサイトも公開しています。

去る6月23日(日)には、株式会社ローソンの特別協賛による「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン特別セミナー」を開催しました。

本セミナーには、本会公認スポーツ指導者を中心に400名近くの方にご参加いただき、会場では337名の参加者に「フェアプレイ宣言」していただきました。

▶ 「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン特別セミナー」の開催について

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2658>

また、このたびロンドンオリンピック銀メダリストで卓球の石川佳純選手に「フェアプレイ宣言」していただきました!

▶ 石川佳純選手のインタビュー記事はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/fair/people/images/sportsjapan7_8_vol8_1.pdf

皆さまのご協力もあり、「フェアプレイ宣言者」は、現在約17,000人になりました!

まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひ専用WEBサイト上でフェアプレイ宣言をお願いします。

なお、フェアプレイ宣言を行っていただくと宣言書のダウンロードができ、各種画像データをご自身のブログなどでもご利用いただけます。ぜひご活用ください。

日本体育協会は、これからも「フェアプレイ」を広げるためにキャンペーン活動を続けてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

▶ フェアプレイ宣言など、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします!

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が決定する9月7日まであと50日を切り、招致活動もいよいよ大詰めを迎えました!

去る6月25日には、IOC(国際オリンピック委員会)評価委員会報告書が発表され、東京はその開催能力を高く評価されています。

また7月3日には、スイス(ローザンヌ)で開催された、立候補都市によるテクニカルブリーフィングにて、オリンピックを代表してフェンシングの太田雄貴さんや招致アンバサダーの滝川クリステルさんらによる熱意あるプレゼンテーションが行われました。

2020年オリンピック・パラリンピック招致実現に向けて、皆さまのより一層の応援をどうぞよろしくお願いいたします。(twitter、facebookなどもご活用ください)

- ▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会HPはこちらから
(貴クラブのHPにリンクいただくなど、ご協力をお願いします)

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください!

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。

おかげさまで、現在約4,800の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を周りの方におススメください。よろしくお願いいたします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1) 日本体育協会HPのトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2) 下段の「メールマガジン」をクリック
- 3) 「登録・退会」をクリック
- 4) 「登録する」をクリック
- 5) 登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6) 登録確認画面へ(完了)

- ▶ メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。周りの方にもぜひ登録をおススメください!

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>

- ▶ メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

[INDEXへ▲](#)